

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名:みらいずジュニア美郷

|                  |    | チェック項目  | はい   | どちらとも<br>いえない | いいえ  | 改善目標、工夫している点など   |
|------------------|----|---|------|---------------|------|--|
| 環境・<br>体制整備      | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | 100% | 0%            | 0%   | 児童の特性に沿って、視覚情報を有効に活用したり声掛けで活動に参加できるよう促している。                  |
|                  | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | 75%  | 25%           | 0%   |  |
|                  | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | 50%  | 50%           | 0%   | 活動に必要なものはしまう、児童や指導員の動線を考え物品配置を決めている。                         |
| 業務改善             | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか                | 100% | 0%            | 0%   | MTGや振り返り時間を設けてPDCAサイクルで支援が出来るよう努めている。                        |
|                  | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | 100% | 0%            | 0%   | ミーティングの際に、気になる点や共有事項を忘れずに伝える時間をつくる                           |
|                  | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | 100% | 0%            | 0%   | 年1回評価を行いHPに掲載している。   |
|                  | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             | 0%   | 0%            | 100% |  |
|                  | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | 100% | 0%            | 0%   | 療育内容だけではなく、感染症や送迎等、業務に必要な内容を研修している。                          |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | 0%            | 0%   | 年齢・学年だけではなく、児童を個々にアセスメントし、特性に合わせた計画作成を心がけている。                |
|                  | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | 100% | 0%            | 0%   | アセスメントシートを活用し情報収集している。その他専門的介入が必要な児童に対しては、身体機能のアセスメントも行っている。 |
|                  | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | 100% | 0%            | 0%   | 事業所内・社内でプログラムの内容の検討をしている。                                    |
|                  | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | 50%  | 50%           | 0%   | 月1～2回、児童によっては毎回内容を変更し、対象児が取り組める課題を提供している。                    |
|                  | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | 100% | 0%            | 0%   |  |
|                  | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | 100% | 0%            | 0%   | 児童や保護者の困り感を聞き、対応していくよう心がけていきたい                               |
|                  | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | 100% | 0%            | 0%   | 子どもの状況に合わせた支援ができるように日頃のスタッフ間での共有をしっかりと行う                     |
|                  | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | 100% | 0%            | 0%   | 児童帰宅後に必ずふりかえりの時間を設けている。児相の様子や支援内容等、出来事の共有をしている。              |
|                  | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | 100% | 0%            | 0%   | 毎回支援記録を残している。保護者には連絡帳でお伝えしている。                               |
|                  | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                  | 100% | 0%            | 0%   | 子どもの状況に応じて、支援内容の見直しをしていく。得意・不得意を把握し支援につなげる。                  |
|                  | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか                         | 75%  | 25%           | 0%   |  |

|              |  | チェック項目   | はい   | どちらとも<br>いえない | いいえ                    | 改善目標、工夫している点など   |
|--------------|--|--|------|---------------|------------------------|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | 100% | 0%            | 0%                     | 支援開始前や定期的に担当者会議を行い、関係機関の支援方法等の情報交換をしている。                                 |
|              | 21   | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 100% | 0%            | 0%                     | 保護者様や関係機関に連絡取り合い対応している。  |
|              | 22   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | 75%  | 25%           | 0%                     | 可能な限り担当者会議の機会を設けている。   |
|              | 23   | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | 75%  | 25%           | 0%                     | 可能な限り担当者会議の機会を設けている。   |
|              | 24   | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | 75%  | 25%           | 0%                     | 保護者や相談員経由で他事業所の情報を得ることが多い。   |
|              | 25   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  | 25%  | 25%           | 75%                    | 感染症等により実施出来ていない。   |
|              | 26   | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   | 100% | 0%            | 0%                     | 代表者が自立支援協議会に参加している。  |
|              | 27   | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | 100% | 0%            | 0%                     | 送迎時に保護者への情報提供を行うよう日々心がけている。<br>子供の成長を伝えるだけでなく目標に対してどこまでできているかをしっかり伝えていく。 |
| 28           | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 75%  | 25%  | 0%            | 年に数回ペアトレや意見交換の場を設けている。 |  |
| 保護者への説明責任等   | 29   | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                      | 100% | 0%            | 0%                     | 契約時や必要時説明している。   |
|              | 30   | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | 75%  | 25%           | 0%                     | 相談内容は上長に報連相し、迅速に対応している。  |
|              | 31   | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          | 50%  | 50%           | 0%                     | 感染症等により実施出来ていない。   |
|              | 32   | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか    | 100% | 0%            | 0%                     | 苦情があった場合は上長に報連相し、迅速に対応している。  |
|              | 33   | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                      | 75%  | 25%           | 0%                     | 事業所での会報を作成している。  |
|              | 34   | 個人情報に十分注意しているか   | 100% | 0%            | 0%                     | 書類関係は鍵付き書庫に保管している。   |
|              | 35   | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                   | 100% | 0%            | 0%                     |  |
|              | 36   | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか                                    | 50%  | 50%           | 0%                     | 今後も保護者との関わりを深め、地域住民の方々にもみらいずの存在を知っていただけるようにしていきたい                        |

|             |    | チェック項目  | はい   | どちらとも<br>いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など   |
|-------------|----|---|------|---------------|-----|--|
| 非常時等の<br>対応 | 37 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | 75%  | 25%           | 0%  | マニュアル作成、避難訓練を行っている。  |
|             | 38 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 100% | 0%            | 0%  | 地震や火事の発生等に向けた避難訓練を行ったり、非常時にすぐに持ち出せるリュックなどを常時置いている                    |
|             | 39 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 100% | 0%            | 0%  | 年に数回研修を行っている。  |
|             | 40 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 100% | 0%            | 0%  | 契約時に身体的拘束・虐待防止の取り組みについて説明・同意を得ている。                                   |
|             | 41 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | 100% | 0%            | 0%  | 食物アレルギーがある児童への食事・おやつのは提供はしていない。                                      |
|             | 42 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 75%  | 25%           | 0%  | ヒヤリハットが起こったことはないが、注意が必要なことは共有し、対応策を考えるようにしている。また社内他事業所にも共有するようにしている。 |